

目次

巻頭言	1
経済研究所長 佐藤 有史	
I. 公開講演会・シンポジウム開催報告	
公開講演会「公認会計士への道」	2
◇近藤 はるか (2017年試験合格者)	
◇羽山 友紀子 (公認会計士・広報委員会専門研究員)	
◇山田 浩一 (公認会計士・立教公認会計士会会長)	
国際シンポジウム「農業の持続可能性評価の試みと有機農業」	3
◇大友 敏明 (本学経済研究所長)	
「開会の挨拶」	
◇マティアス・シュトルツェ (スイス・有機農業研究所 FiBL 理事 社会経済研究部長)	
「ヨーロッパにおける有機セクターの展開状況と農政改革の潮流」	
◇クリスチャン・シャダー (スイス・有機農業研究所 FiBL 持続可能性評価研究グループリーダー)	
「食料農業システムの持続可能性評価手法の開発：SMART の試み」	
◇大山 利男 (本学経済学部准教授)	
「有機農業のデータ収集について」	
◇谷口 葉子 (宮城大学食産業学群講師)	
「有機市場のデータ収集システムについて」	
公開講演会「EV シフトと生産・インフラ・ネットワークの再構築」	31
第2回「欧州自動車産業の再編と EU のクリーン・モビリティ」	
◇細矢 浩志 (弘前大学人文社会科学部教授)	
「欧州自動車メーカーの電動化戦略と生産ネットワークの再編」	
◇風間 信隆 (明治大学商学部教授)	
「ドイツ EV 革命と自動車産業—VW グループを中心として—」	
◇蓮見 雄 (本学経済学部教授)	
「EU の気候変動エネルギー政策とクリーン・モビリティ」	
第6回学術研究大会「トランプ政権とアメリカ経済」	57
◇大友 敏明 (本学経済研究所長)	
「開会の挨拶」	
◇小西 一雄 (本学名誉教授)	

「分裂するアメリカ資本主義—トランプ現象の経済的背景を考える—」

◇山縣 宏之（本学経済学部教授）

「ラストベルトの産業構造高度化と製造業労働者—トランプ現象の経済的背景の考察—」

◇北原 徹（本学名誉教授）

「トランプ政権とアメリカ経済」

II. プロジェクト研究

1) ワークショップ

- ①理論：「市場主義」経済学のオルタナティブ 92
- ②歴史：立教大学経済史・経営史ワークショップ 95
- ③国際政策：激変する北東アジア情勢と日本の役割に関する研究 99
- ④金融：わが国における税務会計の変遷と課題 106

2) 研究プロジェクト

- ①EVシフトと生産・インフラ・ネットワークの再構築 110
- ②観光経済学研究プロジェクト 116
- ③20世紀東アジアにおける経済基盤の形成 119

2018年度 研究員の受入 121